

第31回全道大会への参加報告

恵庭支部 白石典子

ここ数年、江別・千歳支部の仲間と車で乗り合わせて参加してたのですが、そろそろ長距離運転に不安を感じるお年頃にもなり、電車の旅もゆったりして良いかな？ 駅弁の楽しみもあるし etc

仕事の合間の気分転換も兼ねた、自己啓発の大会参加です。なつかしい顔に会えるのも楽しみの一つとなっています。 みんなもっと参加しましょう！！

天候にも恵ればかばか陽気でしたが、釧路から根室までが何と長く感じられた事か、北海道って広いのね！ 今年の分科会は、私たち女性委員会が平成 11 年から取り上げてきたテーマ「子ども・家・HOKKAIDO」を冊子として取りまとめ、その冊子「子どもをはぐくむ住まいづくり」を利用したワークショップ形式のものでした。子供の頃を思い出しながら子供の気持ちになって・・・随分昔の事なので大変！ わいわい・ガヤガヤあつという間に時間が過ぎていきました。 色々な年齢層の人が混じると、より住まい方の幅が広がる意見が出るのではないのかなと思いました。平成 17 年 11 月末に印刷予定との事で今後の活用が楽しみです。

懇親会は意表を突く会場でとてもおいしく・楽しいものでした。根室の皆さんご馳走様でした。バスを降りると海、暗いし、こんなところに何があるんだろう？ と思っていると JAZZ が聞こえてきてさんまの焼けるにおい、そこは根室水産物地方卸売市場でした。会場内の壁一面に大漁旗が張巡らされていていい感じ。入口で好きな飲み物を手にとって中に進むと、テーブルの上は花咲きがにがてんこもりでした。情報の早い人は、my ハサミを持ってきていたとか。

抽選会もさんま 1 ケースとかスケール大きかった。根室と JAZZ どうして？ と思っていたら「有名なんだよ」と東さんが教えてくれました。

翌日は女性建築士の集いで北海道北方四島交流センターの見学をしました。「ニ・ホ・ロ」の愛称で呼ばれ、日本（ニ）とロシア（ロ）をつなぐ北海道（ホ）の交流拠点施設の意味だそうです。語り部である元島民の女性から子供の頃生活していた島の話からサハリンの収容所での強制労働の話など伺いました。館内を説明してもらいながら廻り、資料館展示室での地図では国後島のあまりの近さに驚きの声！ 交流センター見学の前に、江別の男性会員に納沙布岬を案内してもらっていた私達は、うっすらとかがかった霧で国境ラインの灯台を見ることができずに、時間切れで断念して戻ってきました。とても残念。岬の海岸線にへばりつく様にこんぶ漁をしている沢山の磯船を見て、国境ラインがすぐ間近にあるんだなとは思っていたけど本当に近い！ いつもと違った海岸線の風景を見ながらのドライブはとても良い気分転換になりました。



北海道北方四島交流センターにて

全道大会に参加して

道東Aブロック支部 大西智子

記念公演の交響組曲「北国賛歌」で始まった根室大会では、B分科会に参加しました。

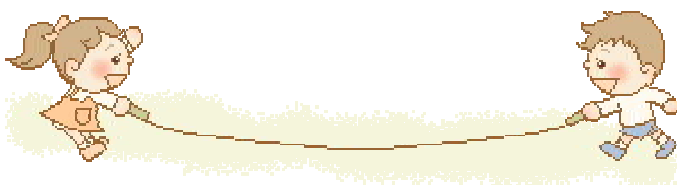
分科会では平成11年から取り組んできた「子ども・家・Hokkaido」をまとめた冊子の発表と実際に「子供をはぐくむ住まいづくり」の提案をしようということで後半にワークショップが行われました。指定された家族設定から「リビング」「ダイニングキッチン」「ユーティリティー」「屋外空間」の4つのテーマに分かれて、自分たちが係った実例やこの家族にどんな提案ができるか話し合いました。各班共、テーマのとらえ方や住まいに対する思いは人によってかなり差があり、様々な考え方やいろいろな意見が出たようです。話し合いが進むうち家族設定からではなく、設計者としての視点に立っての意見になっていたようにも思います。最後の発表では、自分とは視点が違うなと感じるものもありました。



テーマ別発表風景

それぞれの家族にも多様な考えがあります。家族や環境の変化を考え、家族が住まいづくりで大切にしたいことを反映させながら「住まい」を作らなければなということを改めて実感しました。

私は、翌日行われた「女性建築士の集い」に参加できなかったので残念でした。



委員会報告

女性委員会委員長 早川陽子

「子どもをはぐくむ住まいづくり」

12月 発行!

子どもと建築部会は、6年前からの取り組み「子ども・家・Hokkaido」を健康で元気な子どもをはぐくむ住まいづくりに、大切にしたいことを1冊の本にまとめました。大切にしたい「4つのテーマ」をご紹介します。『4つのテーマ』



はぐくむの章

子どもの性格形成と家族のコミュニケーション
感じるの章

文化、礼儀・作法、環境とあそびの関係
であうの章

さまざまなことがらに出会う場としての住まい
安心の章

毎日を過ごす生活リズムと自然の恵み



* 価格：1,000円（税込）

「子どもをはぐくむ住まいづくりセミナー」

～あなたのまちで開催しませんか？～

平成18年からは普及活動を企画しています。講師は編集委員が担当、この冊子がテキストです。

* お問い合わせは女性委員会まで